



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場会社名 株式会社白洋舎 上場取引所 東
 コード番号 9731 URL http://www.hakuyosha.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)五十嵐 素一
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)丹羽 義己 (TEL)03(5732)5111
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 平成26年9月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日~平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	23,490	4.1	1,020	11.2	1,051	7.2	594	△26.1
25年12月期第2四半期	22,569	0.7	917	38.7	981	45.5	805	199.4

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 646百万円(△42.6%) 25年12月期第2四半期 1,125百万円(138.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	15.53	—
25年12月期第2四半期	21.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	33,019	7,389	20.9
25年12月期	30,973	6,871	20.5

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 6,889百万円 25年12月期 6,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年12月期	—	2.50	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日~平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,600	1.2	1,120	0.6	1,170	△9.2	630	2.9	16.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期2Q	39,000,000株	25年12月期	39,000,000株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

26年12月期2Q	697,069株	25年12月期	693,016株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	38,305,348株	25年12月期2Q	38,314,430株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年1月1日～6月30日)におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に、景気は緩やかな回復基調が続いており、個人消費に関しては、消費増税前の駆け込み需要と、増税後の反動減による影響があったものの、徐々に持ち直しの動きも見られてまいりました。

このような状況下、当社グループではお客さま満足をすべての価値の中心とする「顧客中心経営」のもと、お客さまニーズに基づくサービスメニューの充実を図るとともに、異業種企業との提携強化等により、お客さまとの接点拡大に努めてまいりました。

こうした取り組みの結果、当社グループの売上高は234億9千万円(前年同四半期比4.1%増)、営業利益は10億2千万円(前年同四半期比11.2%増)、経常利益は10億5千1百万円(前年同四半期比7.2%増)、四半期純利益は5億9千4百万円(前年同四半期比26.1%減)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

<クリーニング>

個人向けのクリーニング事業については、中長期的に需要が減少する傾向にある中、「新規のお客さまを増やす・継続してご利用いただく・より多くご利用いただく」ことを目的とし、ショッピングセンター等への新規出店を増やすとともに、お客さまとの接点拡大を目指してアパレルメーカー等、異業種他企業との連携・提携を推進しております。また、新たなサービスとして、本年1月より、和服の「はっ水加工」の取扱いを開始いたしました。

クリーニング事業における第2四半期の売上は、3月には消費増税前の駆け込み需要等により大幅な伸びを示したものの、4月以降は駆け込み需要の反動減に加え、天候不順もあり低調に推移しました。しかしながら、第2四半期の累計では、消費増税の影響が比較的軽微に留まったことから、クリーニング事業の売上高は123億1千5百万円(前年同四半期比2.8%増)、セグメント利益(営業利益)は9億6千8百万円(前年同四半期比11.9%増)となりました。

<レンタル>

レンタル事業は、ホテル・レストラン等に向けたリネンサプライ部門と、コンビニエンスストアや外食産業、食品工場等に向けたユニフォームレンタル部門とに大別されます。

レンタル事業における第2四半期の売上は、リネンサプライ部門において、新規に開業した高級ホテルとの取引開始や、都心部を中心とした既存得意先ホテルの高稼働等により増収となったほか、ユニフォームレンタル部門において、食品関連企業の衛生管理ニーズの高まりによる新規取引獲得等が寄与しました。

一方で、リネンサプライ部門における新規受注に伴う初期投資に係る償却負担の増加や、光熱費の上昇等が経費を押し上げたことから、レンタル事業の売上高は92億1千4百万円(前年同四半期比4.6%増)、セグメント利益(営業利益)は4億9千8百万円(前年同四半期比8.2%減)となりました。

<不動産>

不動産事業では、不動産の賃貸および管理・仲介を行っております。

売上高は3億7千5百万円(前年同四半期比4.9%減)、セグメント利益(営業利益)は1億6千3百万円(前年同四半期比8.7%減)となりました。

<その他>

その他事業のうち、家庭用モップ・マット等を供給するケミサプライ部門が、同業他社との競争環境が厳しい中、得意先件数の増加により増収となったこと等から、その他事業の売上高は29億9百万円(前年同四半期比4.4%増)、セグメント利益(営業利益)は、1億3千7百万円(前年同四半期比83.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ20億4千6百万円増加し、330億1千9百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加5億7千6百万円、たな卸資産の増加3億7千8百万円等により12億2千万円増加し、114億8千4百万円となりました。

固定資産は、その他の有形固定資産の増加8億1千3百万円等により8億2千6百万円増加し、215億3千5百万円となりました。

また、流動負債は、短期借入金の減少3億1千2百万円、支払手形及び買掛金の増加4億5千9百万円、1年内返済長期借入金の増加1億3千3百万円等により2億9百万円増加し、117億1千5百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加9億3千5百万円等により13億2千万円増加し、139億1千5百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加4億9千7百万円等により5億1千7百万円増加し、73億8千9百万円となりました。

自己資本比率は、前連結会計年度末の20.5%から20.9%へ増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益11億2百万円等により8億2千5百万円の収入(前年同四半期比21.3%減)となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出8億1千9百万円、投資有価証券の売却による収入1億5千万円等により7億4百万円の支出(前年同四半期比60.3%増)となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、長短借入れによる収入97億2千万円、長短借入金の返済による支出89億7千3百万円等により4億4千5百万円の収入(前年同四半期は2億7千1百万円の支出)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ5億7千5百万円増加し、14億9千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、最近の人手不足の影響による人件費増加や光熱費増加などの懸念材料もあり、平成26年2月17日に発表いたしました平成26年12月期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	933	1,509
受取手形及び売掛金	3,903	3,958
たな卸資産	4,622	5,000
繰延税金資産	231	213
その他	586	815
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	10,264	11,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,442	18,415
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,238	△13,251
建物及び構築物(純額)	5,204	5,163
機械装置及び運搬具	7,738	7,720
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,874	△6,770
機械装置及び運搬具(純額)	864	950
土地	7,076	7,031
その他	3,862	4,757
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,275	△2,356
その他(純額)	1,586	2,400
有形固定資産合計	14,731	15,546
無形固定資産	295	344
投資その他の資産		
投資有価証券	2,688	2,641
差入保証金	1,797	1,773
繰延税金資産	1,194	1,212
その他	104	119
貸倒引当金	△103	△101
投資その他の資産合計	5,681	5,645
固定資産合計	20,709	21,535
資産合計	30,973	33,019
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,700	3,159
短期借入金	3,327	3,015
1年内返済予定の長期借入金	2,075	2,209
1年内償還予定の社債	60	50
未払法人税等	588	569
賞与引当金	195	217
その他の引当金	43	44
その他	2,516	2,450
流動負債合計	11,506	11,715
固定負債		
社債	100	180
長期借入金	6,417	7,353
退職給付引当金	2,937	2,929
役員退職慰労引当金	207	200

環境対策引当金	36	36
資産除去債務	215	230
その他	2,679	2,984
固定負債合計	12,594	13,915
負債合計	24,101	25,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	1,496	1,496
利益剰余金	2,226	2,724
自己株式	△232	△233
株主資本合計	5,900	6,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	578	568
為替換算調整勘定	△119	△75
その他の包括利益累計額合計	458	492
少数株主持分	512	499
純資産合計	6,871	7,389
負債純資産合計	30,973	33,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	22,569	23,490
売上原価	19,010	19,791
売上総利益	3,559	3,698
販売費及び一般管理費	2,642	2,678
営業利益	917	1,020
営業外収益		
受取配当金	27	25
為替差益	109	22
受取補償金	33	37
持分法による投資利益	-	4
その他	81	78
営業外収益合計	251	167
営業外費用		
支払利息	123	122
持分法による投資損失	35	-
シンジケートローン手数料	1	1
その他	27	12
営業外費用合計	187	136
経常利益	981	1,051
特別利益		
投資有価証券売却益	454	94
負ののれん発生益	-	15
特別利益合計	454	110
特別損失		
固定資産処分損	8	59
特別損失合計	8	59
税金等調整前四半期純利益	1,426	1,102
法人税、住民税及び事業税	473	492
法人税等調整額	112	△0
法人税等合計	586	492
少数株主損益調整前四半期純利益	840	610
少数株主利益	35	15
四半期純利益	805	594

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	840	610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	215	△12
為替換算調整勘定	44	27
持分法適用会社に対する持分相当額	24	21
その他の包括利益合計	284	35
四半期包括利益	1,125	646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,093	628
少数株主に係る四半期包括利益	32	18

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,426	1,102
減価償却費	478	495
負ののれん発生益	-	△15
有形固定資産除却損	6	6
有形固定資産売却損益(△は益)	-	50
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	22	22
退職給付引当金の増減額(△は減少)	108	△8
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△44	△6
受取利息及び受取配当金	△27	△25
支払利息	123	122
為替差損益(△は益)	△109	△22
持分法による投資損益(△は益)	35	△4
投資有価証券売却損益(△は益)	△454	△94
売上債権の増減額(△は増加)	△225	△46
たな卸資産の増減額(△は増加)	58	△342
仕入債務の増減額(△は減少)	202	457
未払消費税等の増減額(△は減少)	11	61
その他	△267	△284
小計	1,354	1,468
利息及び配当金の受取額	34	33
利息の支払額	△121	△127
法人税等の還付額	26	-
法人税等の支払額	△244	△548
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,048	825
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,394	△819
有形固定資産の売却による収入	0	48
無形固定資産の取得による支出	△23	△93
投資有価証券の取得による支出	△23	△2
投資有価証券の売却による収入	951	150
短期貸付金の回収による収入	35	34
子会社株式の取得による支出	-	△14
その他	14	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△439	△704

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	12,460	7,654
短期借入金の返済による支出	△13,211	△7,966
長期借入れによる収入	1,900	2,066
長期借入金の返済による支出	△1,055	△1,007
社債の発行による収入	-	100
社債の償還による支出	△30	△30
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△237	△273
配当金の支払額	△97	△97
財務活動によるキャッシュ・フロー	△271	445
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	360	575
現金及び現金同等物の期首残高	805	917
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,165	1,492

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	クリーニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)				
売上高	11,977	8,813	394	21,185	2,786	23,972	△1,402	22,569
セグメント利益	865	543	178	1,587	75	1,663	△745	917

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハウスクリーニングやモップ、マット等のレンタルを行うクリーンサービス事業や、洗濯機械販売、修理、各種洗濯資材・ユニフォームの製造、販売等を取扱う事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△745百万円には、セグメント間消去△26百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△719百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	クリーニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)				
売上高	12,315	9,214	375	21,905	2,909	24,814	△1,324	23,490
セグメント利益	968	498	163	1,630	137	1,768	△748	1,020

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハウスクリーニングやモップ、マット等のレンタルを行うクリーンサービス事業や、洗濯機械販売、修理、各種洗濯資材・ユニフォームの製造、販売等を取扱う事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△748百万円には、セグメント間消去△21百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△727百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。